Evidence Based EBPM Policy Making
SYNERGY
第 46 回生 学年通信　第 9 号 2021/07/15

映画を観るとき、どういう経緯で観る映画を決めますか。タイトルだけで決める人は少ないですよね。予告編やレビュー等を参考に決めるのではないでしょうか。進路設計も同じです。名前だけで進学先を決めるのは早計です。そこで今回は、四年制大学や短期大学が発信している情報を観点別にまとめた「３つのポリシー」を紹介していきます。

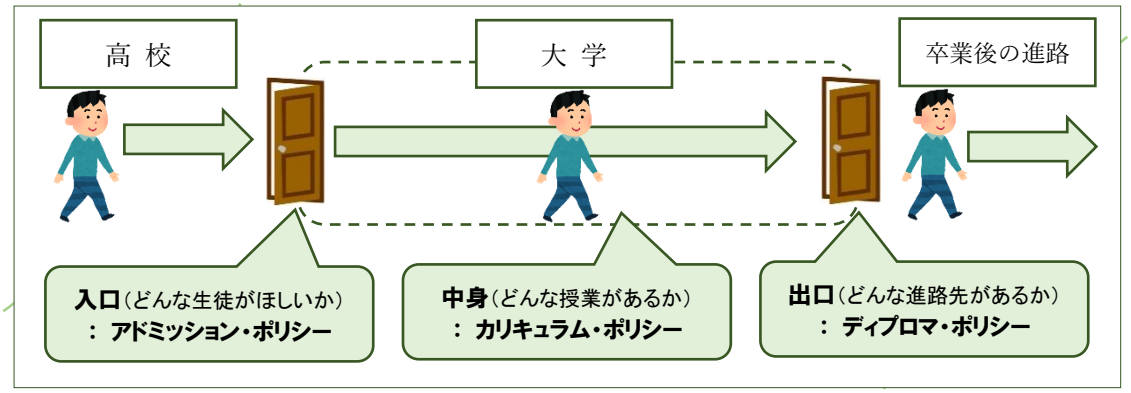
2．３つのポリシー

入口から出口まで

ポリシーとは、四年制大学や短期大学が掲げているその大学の方針のことです。大きく次の３つがあります。

- **アドミッション・ポリシー**　・・・**求める生徒像**
- **カリキュラム・ポリシー**　・・・**展開する授業に関する方針**
- **ディプロマ・ポリシー**　・・・**学位に関する方針**

これらは、どんな生徒を求め、どう学び、どんな姿でその学校を修了していくのかを明文化したものです。言い換えると**これらのポリシーは、以下の図のように学校の入口・中身・出口**を紹介しているのです。



大学側がこれらのポリシーを明らかにすることで、方針に共感する学生が集まること、そして同じ志を持った仲間と高い次元で学生生活を送ることが期待できるのです。進路を考える上で必ず確認しましょう。

どう活かすのか

具体的なアクションプランとして、まず大学の３ポリシーを必ず確認してください。特にカリキュラム・ポリシーは要チェックです。見るポイントは**どういう点で差別化を図っているか**、キーワードは**「比較」**です。人気の学部であればあるほど大学の候補が増えるので、各大学の学部を比較し何をどう学んでいくのかという特色を整理することが大切です。〇〇大学では講義が多い、××大学ではグループワークを重視している、△△大学は出前授業が充実しているといった具合です。大学の高校生向け説明会をオープンキャンパスといいますが、大学の特色をまとめておくと個別相談で「なぜその特色を全面に出しているのか」を訊くことができるようになります。「グループワークを充実させていますが、講義や実践よりも多く取り入れたのはなぜですか」、「学生は実際にどんな学びをしていますか」といった具合です。

大学を選ぶとき、偏差値や名前で「こんな大学なのだろう」と早合点しないよう気を付けましょう。今回紹介した３つのポリシー、進路設計のときに必ず確認し、活用してくださいね。